

編集後記

今回は、昨年話題となった“遷宮”と“都市地下インフラの再構築”と関連させ、日本流のあるべき対応を考えたい。日本国全体をお護りいただく大神様への対応と、下水道を始めとした地下インフラへの対応を同一レベルで論じることなど、誠に大胆かつ不敬であることは否めないが、職業柄ということでお許しいただきたい。

白状すれば、私自身、“遷宮”という言葉は耳にしたことがあるものの、その内容とか、その意義、目的などについては全く無関心、たまたま昨年末、NHKの番組にチャンネルを合わせたことから、少しばかりの知識を得た次第だ。昨年は、これもたまたまであろうが、日本を代表する伊勢神宮と出雲大社で遷宮が行われた。両者とも大祭事であるが、興味が湧くのは、そのやり方が根本的に異なることだ。この二つの対応方針、考え方が、今後、地下インフラの再構築の方針に相通ずるものがあるのではと、ふと心に湧いた。

「遷宮」とは、神社の本殿の造営または修理の際に、御神体を従前とは異なる本殿に移すこと、すなわち神様のお引越しだ。神様の引越しであればこそ、それに多くの祭礼が

伴う。伊勢神宮の場合、「式年遷宮」と言われ、定められた年に定期的実施される。伊勢神宮の場合、これが20年となっている。とは言うものの、この一連の準備には、御料木の伐り出しからほぼ10年を要するという。一方、出雲大社の場合には、ご本殿は1744年に造営されて以来、今回が4回目の遷宮となり、ほぼ60～70年ごとに行われるらしい。また、その方法も異なる。伊勢神宮の場合には、隣接する区画に、正殿と関連するお社（御垣内）は当然として、殿内の御装束や神宝全てを従前どおりに新調し、ご御神体をお遷しする。一方、出雲大社の場合は、基本的には社殿の修造（改築・修繕）だ。今回、修造期間はほぼ5年で、その間、御神体は御仮殿に遷って頂く。修造であるから、従前の風情、風格を保持するため、使用できる部材は全て再活用するらしい。日本人の心として、“全て新調された場に身を置き、清浄な気分になりたい”という「伊勢流」もあり、“伝統的な情緒を残しつつ、その機能を保持したい”という「出雲流」もある。

さて、都市の地下インフラの再構築ではどうか。老朽化した地下パイプラインをどう再構築するか。「伊

勢流」は、電力や通信、あるいは一部の上水やガスなど、サービス供給型のインフラであれば、ある幹線機能をそっくり別ルートで新設し、ラインを切り替えることも可能だ。一方、下水道などサービス受領型のインフラでは、排水者（利用者）が定位置に固定されているため、既設の敷設位置で改築、更新せざるを得ない「出雲流」だ。この場合、改築期間中、快適、確実な都市機能を保全するため、仮排水（御仮殿）の設置は必須だ。また、再構築の経年的サイクルだが、決められた期間サイクルで計画的に実施する「伊勢流」は理想ではあるが、その状況に応じ、その改修内容も含め実施する「出雲流」が現実的だ。

そもそも、「遷宮」を行う意義、目的は、神様に清浄なお社にお住い頂き、そのお神力をリフレッシュして頂くとともに、それに関連する伝統技術を伝承させることにあるという。片や、都市地下インフラの再構築も、都市の活力をリフレッシュさせることだが、ここでは、技術の伝承のみならず、技術の進展、革新に努めたいものだ。

（編集委員長 石川和秀）

No-Dig Today

No.87 2014 Apr. 平成26年4月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：安中徳二

印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。
○購読料（税込み）

1冊 1,620円（本体1,500円）〒400円
1ヵ年（4冊）6,480円（本体6,000円）〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会で選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2014 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。